

お手入れ

- 車のエンジンを切ってから、乾いた柔らかい布で拭いてください。
- ベンジン、シンナー類を使うとケースや塗装が変質しますので、使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用になる場合は、使用上の注意をよく読み、必ずお守りください。

ETCカードの取り扱い

ETCカードは、精密な電子部品(ICチップ)を搭載しています。取り扱いによっては、使用できなくなることがあります。

- 曲げたり強い力を加えない。**
ICチップが割れたり、配線が切れたりして使用できなくなります。ズボンのポケットなどの曲がりやすい所で携帯しない。小銭などの固いものと一緒に携帯しない。分解・改造はしない。車載器に無理に押し込んだり、引っ張ったりしない。
- 静電気は禁物です。**
静電気によってICチップの回路が破壊されて使用できなくなります。カードのICチップ面に手や物を触れない。テレビなど帯電しやすい物の上に置かない。
- 熱は禁物です。**
高温によってカードが変形し、使用できなくなります。車の中に保管しない。(特にダッシュボード上、および車載器への放置) ストープなどの近くに保管しない。
- ぬらしたり、汚したりしない。**
飲食物などでぬれたり汚れた場合は、柔らかい布で拭き取ってください。

ETCカードの紛失、破損および変形した場合は、ただちにその旨をETCカードの発行元に連絡してください。

【はじめに】

必ず、ETCシステム利用規程等をお読みください。

- ETCシステム利用規程、同実施細則(以下「利用規程等」という。)、ETCカードの利用約款などにご利用上の注意事項が記載されています。また、特に、エラーや事故の発生の原因になる等の重要な事項について、以下に記載しました。ETCのご利用前に、必ずお読みください。
- ※利用規程等は、道路事業者の「供用約款」と併せて「約款」となりますので、遵守事項については必ずお守りください。利用規定等に従わないで被ったいかなる損害について、道路事業者は一切の責任を負いません。

【乗車前のご注意】

専門の取付店で車載器を取り付けてください

- 車両への車載器の取り付けは、専門の取付店等で確実に行ってください。車載器のアンテナユニット(一体型の場合は車載器本体)は、車両の中心付近に車載器メーカーの推奨する方法で取り付けてください。取り付け位置などが不適切な場合、正常に通信できず開閉バーが開かないことがあります。
- 車載器メーカーが販売する車載器を分解・改造することは、禁止されています。分解・改造された車載器でETCを利用なさらないようお願いいたします。
- ※車載器の取り付けは車載器メーカーの示す方法で行ってください。メーカーが示す方法以外(シガーソケット等による簡易取付など)では、利用できません。
- ※分解・改造された車載器は、利用規程等に違反するため、セットアップすることはできません。
- ※四輪車用ETC車載器を二輪車に取り付けた場合も、利用規程等に違反するため、セットアップすることはできません。

ETCカードを車載器に確実に挿入し、エラー等がないかの確認を!!

- ご乗車時に、ETCカードを車載器に確実に挿入し、エラー等がないかを確認してご利用ください。ETCカードが確実に挿入されていても、車載器が正しく作動していない場合、開閉バーが開きません。車載器へのETCカードの挿し忘れ、挿し込み不良により、開閉バーが開かないケースが増えています。
- ※ETCカードの挿し込み方向(前後・表裏)にご注意ください。
- ※ETCカードを車載器に挿入し、ETCが利用可能である旨の音声案内等を確認してください。またそのときには音声ボリュームにも注意してください。
- ※料金所の手前等に、ETCカードが正常に挿入されていないことを車載器にお知らせするアンテナが設置されている箇所があります。ETCカードが正常に挿入されていないことのお知らせがあった場合には、ETC無線走行はできませんので、一般レーン又は「ETC/一般」と表示しているレーン(以下、「混在レーン」という。)をご利用ください。
- 車載器がETCカードを認証するまでには、数秒かかりますので、料金所直前でのETCカードの挿入は、エラーの原因となることがあります。
- 車載器のアンテナ周辺に物を置いたり、物で遮ったり、安易な取り付け箇所の変更などをしないでください。
- ※正常に通信できないとエラーが発生し、開閉バーが開きません。